寝屋川民報 議会版

発行
日本共産党
寝屋川市会議員団
072-824-1181
（内線2399）
FAX：824-7760
No.2726

石本えりな
太秦元町9－2－203
090-8937-1934

太田とおる
高柳2－49－2
080-3818-9722

中林かずえ
宝町4－33
090-3944-8385

西田まさみ
石津中町30－3
090-9713-3588

前川なお
萱島東2－16－11
090-1025-7503

橋下知事以降に
教育費４７３億円削減

大阪の教職員採用の倍率
近隣府県の半分に

大阪府の教育費の総額は、２００８年度に橋下徹知事になってからから大幅に減額されました。（左表参照）

２００８年度に、橋下知事は就任するやいなや、「大阪府は破産状態」として「財政非常事態宣言」を発令し「財政再建プログラム」で府民のための施策を廃止・縮小しました。

その結果、２００７年度から２００８年度に約１１７億円分「収支改善」させたと胸を張りましたが、２０１３年度までに４７３億円もの教育費削減をした結果です。

橋下知事の選挙公約のトップは「子どもが笑う、大人も笑う大阪に」であったにも関わらず、教育費を大幅に削減したのは公約違反と言えます。

本市中学校の教職員
６人に１人が非正規

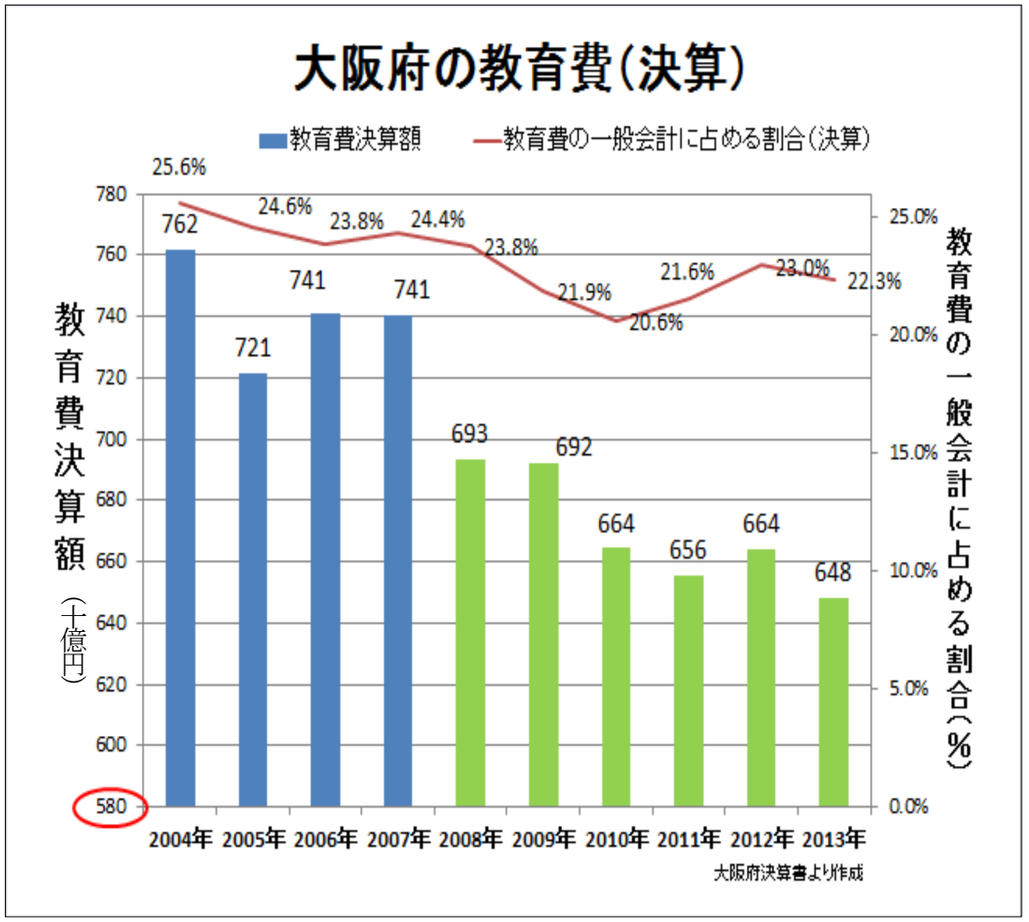
大阪府が大幅削減した教育費の内容のほとんどは教職員の正規採用を減らしたことと教職員の給与削減です。

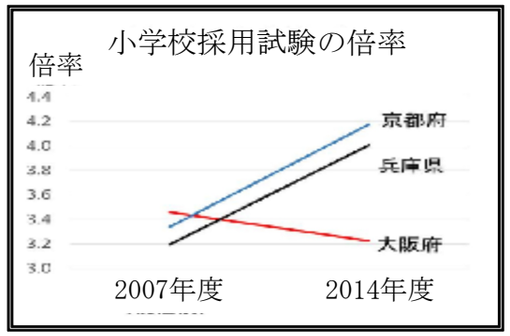
橋下知事は当時、いじめ・体罰、卒業式等の日の丸・君が代、教職員組合の活動などあらゆる問題を利用して公務員や学校・教職員に対するマスコミを通じたバッシングを展開して「教職員給与減額は当然」と強行しました。

その結果、大阪府は教師や講師を募集しても来ない、採用試験の倍率も近隣府県の半分という状況になっています。

寝屋川市でも、定数内講師（本来正規の教諭を配置すべきところ非正規で配置している）は、小学校で64人（11・2％）、中学校で63人（17％）にものぼっています。

教育に臨時はなく、大阪府が、正規教諭を採用して定数どおり配置すべきです。





視界

この夏、アルバイトの高校生が労働組合（高校生ユニオン）を東京で初めて結成した。ひどいところでは、売れなかったら商品を買い取らせる、ペナルティで時給を下げたり、罰金を課したり、テスト期間も休ませない▼学費のためにブラックバイトに依存せざるを得ない高校生が増える中「もう黙っていられない」と立ち上がり、高校生ユニオンは結成早々に成果をあげた▼コンビニでバイトしていた高２のケースでは15分単位の計算で切り捨てられていた賃金を１分単位に是正させ、３店舗１００人近い従業員が過去にさかのぼって正された。高校生ユニオンの要請を受けて厚生労働大臣は、年内に高校生のアルバイトの実態調査を始めることになった▼高校生ユニオンは「店長が言うことが全てでない。おかしいと感じる気持ちを大事にしてほしい」「辛いことがあってもユニオンがあることを思い出してほしい。いつでも力になる」と訴えています。

■「高校生ユニオン」０３・５３９５・５３９５
■「北河内労連のホットライン」０６６・９０６・５０９１

寝屋川市役所内日本共産党控室　〒572-8555 寝屋川市本町1番1号　寝屋川市政について、ご意見ご要望をお寄せ下さい。Ｅメール n-jcp@jcp-neyagawa.jp

競争教育やめて 少人数学級の実現を

府教委は 全国学力テストの 内申書への反映はやめるべき

大阪府教育委員会は、来春の公立高校入試で、国の「全国学力・学習状況調査」（以下全国学力テスト）と府の「中学生チャレンジテスト」の結果を受験の内申書に反映させるとしています。

寝屋川市では、昨年10月に全国学力テストの結果を学校別に広報ねやがわで公表しました。

学力テストの結果が公表されると学校現場では、「過去の問題を生徒に配布して繰り返し学習させる」など、1点でも点数を上げることが優先されることになりました。

そのため、市民や現場の教職員、教育関係団体から学力テストの結果公表は止めるようにとの申し入れが議会にもありました。

この上、内申書にも反映するとなれば、さらに点数引き上げの競争となることは、目に見えているのではないでしょうか。

学力テストの結果公表 寝屋川市は中止

寝屋川市は、大阪府教育委員会が学力テストの結果を内申書に反映させることが決まったので、今年の学力テストの公表はしないことを明らかにしました。

内申書は、今年は中3のみの評価だったのを来春の入試からは、中1・2の評価も加えて反映されます。

そうなると中学生は、入学と同時に内申書を気にしながら、学校生活を送らなければならなくなります。

9月の大阪府議会では、自民党女性元府議が代表質問で「生徒の学力を、たった一度の、しかも限られた科目でしかないテストで計るということはできません」と、府テストの内申書への反映を中止するように強く求めました。

大阪府がおこなうべきは、教育予算を増やし、少人数学級の実現など教育環境の条件整備を強めることです。

児童虐待 大阪7年間で3倍

全国平均を大きく上回る

厚生労働省は8日、全国の児童相談所が2014年度の1年間に、児童虐待の相談・通報を受けて対応した件数が8万8931件（速報値）に上ったと発表しました。

大阪府は、1万3738件で2007年度との比較では3・05倍になりました。

寝屋川市においても、虐待の相談件数は、2007年度519件だったのが、2014年度では1105件と、2・12倍にもなっています。

虐待相談件数が増える一方で、虐待対応の専門職員の配置が不十分な状況です。

専門職員を抜本的に増やし、その専門性を高めることが最も重要です。

本市においても、家庭児童相談室に正規の社会福祉士を配置することが急務です。

児童虐待件数の比較

	2007年度	2014年度	2014/2007
全国	40,639	88,931	2.18倍
大阪府	4,498	13,738	3.05倍
東京都	3,307	7,814	2.36倍
兵庫県	1,372	2,679	1.95倍
京都府	1,210	2,049	1.69倍

寝屋川市の虐待相談件数

2007年度	５１９	１として
2013年度	８９７	１．７２倍
2014年度	１１０５	２．１２倍

議員日誌

中林 かずえ

西コミセン地域で実行委員会形式の「うたごえ喫茶」が始まって今月で4回目になります。

6日は、池田南町公民館を借りて、党西部後援会主催の「食事会」と合同で開催されました。

キーボードで伴奏者のKさんは、元保育士で、かつての市立青少年会館（現在にぎわい創造館）で活動していた「うたごえサークルむっくり」のメンバーです。

Kさんから「参加者は初めての人や4回連続参加の人もいて、なつかしく思い出してくださったり、いろいろな想いが重なって涙する人ありで、良い機会になったようで嬉しく思います」との感想をいただきました。

前回（葛原公民館）では「青春」（♪・川に沿って走った♪♪・思い切ってやりたいことを・・この燃えあがる熱いもの、生きているのが苦しくなっても・♪・）で振りも思い出しながら過ごせました。

私が20代前半に聴いた曲でした。